

## 札幌市発注の土木公共工事＊天下り先業者 半数落札

2010/02/03 (水) 北海道新聞朝刊全道(社会) 切抜 28ページ 438文字

札幌市発注の公共工事のうち、市OBが天下った競争入札登録業者の2008年度の落札件数は、最も多い土木分野で全体の約5割を占めたことが、市のまとめで分かった。

落札実績まとめは、市発注の下水道電気設備工事をめぐる官製談合を受け、公正取引委員会が官製談合防止法に基づき、再発防止策として市に求めた改善措置の一環。

部長以上の市OBが天下った業者を対象に、土木、下水、舗装、造園、建築、電気の6種類それぞれのAまたはA1ランクの工事  
で、落札件数や平均落札率を調べた。

落札件数が61件の土木で、市OBが天下った13社が29件を落札し、48%を占めた。

下水道、舗装、建築は、市OBが天下った業者の落札件数が、それぞれ全体の40%、19%、22%だった。同様に電気は全体の7%で、造園は落札がなかった。

道の入札監視委員会委員の経験がある**高井哲彦**・北大准教授は「一般的に、行政のOBが関与して業者が落札する順番を互いに決める例は起こりうる。詳しく調べる余地はあるのでは」と指摘する。

---

COPYRIGHT © The Hokkaido Shimbun Press.

本サービスに関する知的所有権その他一切の権利は、北海道新聞社またはその情報提供者に帰属します。また本サービスは方法の如何、有償無償を問わず契約者以外の第三者に利用させることはできません。